

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月29日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870700317		
法人名	有限会社 かなくぼ薬局		
事業所名	グループホーム ハーモニー城ノ内	ユニット名	ピース
所在地	〒307-0001 茨城県結城市結城8670-2		
自己評価作成日	平成21年12月29日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年2月24日	評価確定日	平成22年6月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

アピールしたい点①自然の採光を取り入れた住まいとペット②近隣の人々が憩いの場として集う運動公園や田畑に囲まれた立地 力を入れている点①認知症の基礎知識を学ぶ自主学習②月に1回の全体研修③家族会との連携

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

職員は利用者の毎日の散歩を通して地域の人々と交流を図ったり、体を動かすことで眠剤や便秘薬などを服用しないで済むよう支援をしている。 職員は認知症についてより理解を深めるため管理者に学習ノートを見せ、管理者がコメントを記入する取り組みをしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	正面玄関や職員出入口などに理念を掲げたものを掲示し、共有と実践に取り組んでいる。	住み慣れた地域で最期まで自分らしく生活ができるよう、自立支援の視点にたって援助するという主旨の理念を掲げ、玄関や職員出入りに掲示するとともに、朝礼で唱和し共有して実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩などを通じて地域とのつながりを持ち、納涼祭等においても交流を図っている。	事業所は自治会に加入している。利用者は毎日散歩で立ち寄る近隣の運動公園で地域の人々との交流がある。近隣には農家が多く野菜の差し入れがあるなど、日常的に交流している。事業所の行事を回覧板で地域住民に周知し、参加を得られるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の民生委員・老人会などイベントごとに参加していただき、認知症への理解を深めていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	災害時の避難場所の提案をいただいたり、事故防止のための話し合いや、各マニュアル作成に関する対策などの意見を頂き、業務に活かしている。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、市職員、民生委員、自治会長、事業所運営者、事業所職員で2ヶ月に1回開催し事業所から現況報告をしているほか、自治会行事などの情報を得ている。会議で出た意見等を運営に反映させ、サービスの質の向上に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故発生時や介護認定更新時、またホームでの認定調査時など、市の担当者と状況に応じた話し合いを行っている。	市担当者が運営推進会議に出席している。	市担当者との連携を密にして協力関係を築くことを期待する。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会などを設け、職員の意識向上に努めている。	毎月1回、身体拘束や虐待防止などを取り入れた研修会を開催している。 利用者の精神安定を図るため天気の良い日以外は毎日散歩を支援しているため、現在一人で外に出かけてしまう利用者はいない。 日中は玄関や居室を施錠せず身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が見過ごされる事がない様に注意し、防止に努めている。勉強会を行い意識向上に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は実施していないが、内部研修を行い、活用できるようにしたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を用いて、契約、解約退居後の支援を行なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や、受診時、家族会総会時、運営推進会議のときなど意見を頂き運営に反映させている。	運営推進会議のほか家族会を年1回開催し意見等を聴く機会を設けるとともに、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	週1回のリーダー会議、月1回のセクション会議を定期的を開催し、職員の意見を反映できる機会を設けている。	管理者は週1回リーダー会議を開催し職員の意見や提案を聞く機会を設けるとともに、出た意見等を運営に反映させている。 会議に出席できない職員には会議録を回覧し周知している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の状況を管理者を通して把握し、研修参加等により向上心を持って働けるよう努力している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地域で開催するケアマネ協議会への研修参加・外部の認知症研修への申込みに加え、法人内でも職員にテキストを配り学習機会を与えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今後取組みたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用について相談があった時は本人に会って心身の状態や本人の思いに向き合い職員が本人に受け入れられる様な関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時、契約時に話しを聞いている。事前に面会訪問しバックグラウンドについて聞き取りを行なっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思いや状況を確認し、必要としている支援を見極め、可能な限り柔軟な対応ができるように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する、支援される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるように場面作りや声かけをしている。昔の風習や料理を教えている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに寄り添い、日々の出来事や気づきの情報共有に努め、家族と同じような思いで支援している事を伝え感謝の心を持つ。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会など家族との触れ合いを大切に、馴染みの知人、友人と会ったりできる様支援している。	職員は利用者が築いてきた友人関係を大切にするため、友人や知人が面会に来易いような雰囲気づくりを心がけ、今までの関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の席を配慮したり、お茶の時間や役割活動を職員も一緒に行い、流れる時間の中で和やかな雰囲気作りを心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	諸事情により退居された方々との関係を大切にしながら、支援や相談をできる取組みを努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ゆとりを持った姿勢で対応しながら、希望や意向を充分理解できるよう努めている。	職員は利用者の生活歴を把握するとともに、利用者の思いや意向の把握に努めている。 意思表示が困難な利用者に対して職員が話しかけたり家族等の面会時に確認し、個別ノートに記録するとともに本人が何を望んでいるかを検討している。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員間での情報の共有と、一人ひとりの生活歴を尊重しながら、処遇に反映させている。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者本位の考えに基づき、ゆっくりとしたペースで生活できるよう支援している。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	できることを継続できるような配慮とできないことをさりげなく支援し、持っている能力の維持・向上に向け取り組んでいる。				

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気付いたことなど記録上に残すことで、ケアカンファレンスの場において情報を共有し、実践へと反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ヘアカットのサービス、デイサービス利用者との合同の行事参加、個別送迎による受診援助などを行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	シルバーリハビリ体操、フラダンス、民謡、ハワイアンバンドなど地元の方達と互いに交流を持ち楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向を尊重し、かかりつけ医と事業所との関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援していく。	契約時に利用者や家族等の希望するかかりつけ医を確認するとともに、家族等が付き添い受診している。 受診時、かかりつけ医に利用者の状態を伝えられるよう一人ひとりの受診ノートを作成し、適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	デイサービスの看護職員と連携を取り、適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に病院に伺い、病院関係者との情報交換を行なえる関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期に家族・本人との話し合いから、意向を聞き取り、関係者も含めたチーム全員で方針を共有し、支援できるように努めている。	看取り介護の指針を作成しているほか、利用期間が長い利用者からは同意を得ている。 現在は看取りの段階の利用者はいない。	今後段階毎に利用者や家族等の意向を確認するとともに対応していく予定なので実現することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを作成し、連絡手順や応急手当について学習し、実践力の把握に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や消化体験などを実施しながら、避難経路、救助方法など把握しながら、地域との協力体制を築いている。	年2回消防署や防災設備業者協力のもと避難訓練や通報訓練、消火訓練を実施している。 災害訓練では地域住民の参加を得ているほか、食糧や飲料水などを備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の意志を大切にし呼び方や言葉かけに配慮している。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 プライバシーに配慮し面会名簿は利用者毎に作成している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の合わせて声かけし、意思表示の困難な方には表情を読み取ったりして本人が決める場面を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れを分かって頂く様、声かけにて対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	時々肌着が出ていることがあるため、職員が声かけにて対応している。ビーズで指輪を作ったり、納涼祭には口紅などおしゃれをして楽しむことを支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と職員が一緒のテーブルで楽しく会話をしたり食事をしている。	利用者の嗜好を把握し献立に配慮している。 職員は利用者と一緒に食卓を囲み、安全に楽しく食事ができるよう支援している。 利用者は職員と一緒にできる範囲でテーブルを拭いたり箸をならべたり、食事の後片付けなどを担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食べる量、栄養バランスのある食事を摂取されている。1日の水分を考え、利用者様に飲んで頂く様声かけを行なっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別の口腔ケア用具を設置し、自らが口腔の清潔を保持できるよう声かけ、援助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握を行なう事で、失敗やオムツ使用を減らし、自立できるよう支援している。	職員は利用者の排泄パターンを把握するとともに時間を見計らってトイレ誘導し、排泄の失敗を防いだり、尿漏れパッドの使用を減らすよう支援している。 職員は食べ物に配慮したり毎日の散歩で便秘予防に努め、下剤を服薬しなくて済むようしている。 服薬があるときは申し送りで職員に周知している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	安易な投薬を避け、飲食物の工夫や適度な運動の実施などから、自然排便の支援に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望に沿った時間に入浴できるようにしているが、その人のペースや状態に合わせて支援している。	入浴は週3回と決まっているが、時間帯は利用者一人ひとりのパターンに合わせて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や生活習慣に応じて休息したり、眠れるよう支援している。眠れない方は日中の活動を見直しして入眠の導入ケアに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用時は必ず手渡し、服用を確認している。服用に際し、症状の変化が見られたときは、すぐ医師に相談・指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々のできることを把握し、やって頂いている。一人ひとりの楽しみを見つけ支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気、本人の希望に応じて、季節を肌で感じてもらい、散歩などに出かけている。	利用者は雨が降った時以外は殆ど毎日近所の運動公園に散歩に出かけ、地域の人々と交流している。家族等の協力を得て理美容室などへ出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望があった時に機会を作り、一緒に買い物を行う。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を利用したいという方には使用して頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一般的な家庭にある物品や設備を整えている。季節の花などを飾っている。	食堂兼居間は天窓から穏やかな光が射して明るい空間となっている。利用者が自由に歩ける回廊や、中庭に自由に出入りができる構造となっている。庭で花や野菜を栽培したり、共用空間には季節の花やお雛様などを飾り、季節が感じられるように配慮をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳などもあり、利用者が自由にくつろげるスペースを作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家から馴染みの物を持って来て頂く様にしている。	居室には身の回りの物品を自由に持ち込んでもらい、利用者は家族等の写真を飾っているほか、椅子を持ち込んだり友人を招き入れ、その人らしく居心地よく暮らしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせて、手すりやトイレ、廊下などの居住環境が適しているかをチェックして、安全の確保と自立への配慮をしている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームハーモニー城ノ内

作成日 平成22年6月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践について、職員間で話し合う機会が少ない。	皆が同じ機会に行える場を持つ	朝礼時などに職員間で唱える機会を持ち、共有意識を養う。	6ヶ月
2	14	同業者との交流を持つ機会がない。	同業者と交流を持つことで、ネットワークを構築しサービスの向上を図る	市長村に相談をしたり、近隣の同業者に連絡し、了承を得る。	12ヶ月
3	34	急変や事故発生時における、職員間の知識と実践の共有を持つ。	職員が応急手当や初期対応について知識があり実践できる	定期的な訓練と指導を受けながら、実践力を身に付ける。	12ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けた方針を共有し、支援できる体制の確立	本人、家族などの話し合いから、事業所の方針を共有し、チーム支援として取組める	主治医や地域の関係者も含めた話し合いと支援をチームとして行なえる体制作りを構築する。	12ヶ月
5	8	権利擁護に関する制度の知識と理解に乏しい	個々の必要性和活用できる支援体制を作る	勉強会など、学ぶ機会を作り、理解と活用できるよう取組みたい。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。